

地質技術者セミナーに参加して

東北ボーリング（株） 工藤 大祐



平成26年10月24日、25日に「(第37回)地質技術者セミナー」が開催されました。今年度のセミナーでは、「技術の伝承」をテーマに掲げ、ベテラン技術者の方々から経験発表、および若手・ベテランを交えてのグループディスカッションが行われました。

また、一日目の夜には意見交換会が行われ、普段お話しする機会がない同業者の方々と交流を深めることができました。参加報告としまして、本セミナーの内容、並びに感想を以下に述べます。

○経験発表および話題提供

一日目は、「除染管理業務の紹介」、「点検・診断技術：高周波衝撃弾性波法」、「地中レーダ探査技術について」、「東日本大震災において発生した盛土造成地被害」の4テーマについての経験発表が行われました。

いずれの内容もレベルが高く、理解しきれなかった部分もありましたが、将来は上記のような高度な技術を必要とする業務を任されるように、日々自分を磨いていきたいと感じました。

○グループディスカッション

二日目は、各テーマについて2つのグループに分かれ、ディスカッションを行

いました。私のグループでは、「コミュニケーションについて」、「仕事に取り組む姿勢」の2つをテーマとして掲げ、それぞれの意見・主張を交わしました。

コミュニケーションについては、社内・社外に限らず人と直接会って話をする事（face-to-face）の重要性についての意見が多く挙がりました。また、現場に自ら足を運び、現状を理解することで安全管理につながるという見解があり、大変参考になりました。

仕事に取り組む姿勢については、分からない事はまず調べ、何が分からないかをハッキリさせることが重要であり、全ての仕事に対して前向きな姿勢で取り組むべきである、というアドバイスをいただきました。

○まとめ

セミナー全体の内容が、普段の業務では経験できないものばかりであったため、非常に有意義な二日間を過ごすことが出来ました。

今後は本セミナーに限らず、様々な機会を通して多くの知識・ノウハウ等を吸収し、一人のプロであるという自覚を持って日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。